



同志社大学

ココロを科学す子

心理学部

Doshisha University Faculty of Psychology

世界がどれだけ発展しても、原点にあるのは人のこころ。

ときに心理学は、現代社会を多面的に
解き明かす光となります。

それゆえ、心理学は今や産業、教育、司法など、
実に幅広い分野で活用されているのです。

また、本学は90年にわたって心理学を研究し、
多様な領域を学ぶ環境と実践的な
カリキュラムを充実させています。

心理学を学ぶことは、すなわち「社会を見つめる目」を磨くこと。
あなたも、社会に活かせる学びを身につけませんか。

社会の
根底にあり
こころの本質を

多面的に
解き明かす

Message

学部長挨拶



心への興味を学ぶ力に

心理学は心と行動を対象とするサイエンスです。法則性や理論を探究する基礎研究と、その成果をさまざまなフィールドに適用して私たちの生活の改善をめざす応用実践を共に重視し、これらを融合させ発展させることが同志社大学心理学部の使命です。

「心理学」というとカウンセリングのような臨床心理学がイメージしやすいと思いますが、それだけではありません。勉強することも、遊ぶことも、商品を買うことも、全て私たちの行動です。ですから、教育や経済、環境問題など、人間の営みに関わる全てが心理学の対象になります。つまり、カウンセラーや研究者のような心理学の専門職に就くだけでなく、どのような進路に進む人にも心理学の学びは有益なものとなるのです。

本学部ではスタッフ一同で皆さんの積極的な学びと学生生活をサポートします。学問に本格的に取り組むことを通じて自分で考える力を身につけてください。その力は、社会がどのように変化しようとも、皆さんの人生の道標となるでしょう。

同志社大学 心理学部長 青山 謙二郎 教授



基礎と臨床をつなぐ、 バランスの取れた心理学教育

「基礎心理学を主たる研究領域とする研究者は、常に臨床（応用）にも眼を向けなさい。
臨床（応用）心理学を主たる業務とする実践家は、常に基礎の知見にも眼を向けなさい。」
これは同志社心理に言い伝えられてきた言葉です。
人という複雑な対象を理解し、それを実践するには、さまざまな見方が必要です。
同志社心理は、基礎と臨床（応用）のバランスが取れた教育を目指します。

Fundamental

基礎

「基礎」研究力とは、科学的な方法論を駆使して、普遍的な知を創出する能力のことを指します。特に心理学では、論理力、観察力、そして分析力を基盤にして、具体的な現象に潜む普遍性を実証的に探求していく能力のことを意味します。ここで得られた普遍性は、時に常識とはかけ離れたものであるかもしれません。しかし、良心に基づいて、臆することなく、それを社会に発信していくことが必要です。なぜなら、そのような行為は、自由を守ることにつながるからです。

{ 身につく能力 }

- 論理力 ○ 観察力 ○ 分析力 ○ 情報収集力

Applied

応用

「応用」力とは、科学的な方法論を駆使して、社会問題を解決する能力のことを指します。特に、問題となっている場面に即したテーラーメイドな解決方法を提案し、実行・運用していく能力のことを意味します。また、他の専門家と連携しなければならないことが少なくありません。そのような時にこそ、実証に裏付けられた普遍性を踏まえながら、その場で得られたデータに基づいてコミュニケーションを交わすことが必要です。なぜなら、そのような行為は、フェアなコミュニケーションを可能にし、相手を尊重することにつながるからです。

{ 身につく能力 }

- 問題解決力 ○ 創造力 ○ 実行力 ○ 発信力



目指すべき人材(物)像

心理学部心理学科では、観察・分析力、論理力、発信力の育成を基盤に、実証的な姿勢で「人のこころ」にアプローチできる人材の養成を目指している。キリスト教主義の精神に基づく教育環境の中で培われる高度な専門知識と技能は、心理学の専門家として、また社会のさまざまな分野で、良心をもって活躍する有為な人材を育成するための素地となる。

アドミッション・ポリシー

心理学部では、心の仕組みに関する知識や技能を基礎から応用まで体系的に学び、論理的な思考とデータによる実証を重視する姿勢を身につけることで、習得した知識や技能を適切に運用し、心理学の成果を社会に向けて主体的に発信できるようになることを目的としています。心理学の専門家として、人の心に関心を持ち、心の問題に科学的にアプローチする能力を備え、現代社会のさまざまな分野において貢献できる人物の育成を目指しています。こうした観点から、心理学部では、次のような学生を求めています。

ディプロマ・ポリシー

知識・技能

こころと行動の仕組みとその機能を解き明かすための実証的な研究法を身につけ、それによって得られた専門的知識を実社会に活かすための方法論を理解できる。

思考力・判断力・表現力

根拠となるデータに基づいて論理的に思考することにより、実証的な姿勢でこころと行動の問題にアプローチするとともに、その成果を的確に発信できる。

主体性・多様性・協働性

こころと行動を科学的に探求し、その知識を核とした幅広い教養を活かした他者との協働により、社会のさまざまな領域において貢献できる。



心理学部の求める学生像

知識・技能

心理学部では、基礎心理学と応用心理学のバランスの取れた教育を通じて、心や行動の仕組みと機能に関する知識と技術の習得を目指しています。そのため、文系・理系を問わず、幅広い基礎知識が求められます。特に、一般的教養知識の習得や心理学の専門知識を身につける上で必要となる、日本語と英語の読解能力・表現能力を備えた学生を求めています。

思考力・判断力・表現力

自らの主張や論理を組み立てる力、現象を客観的に観察・分析する力、そして、得られた実証データについて主体的に発信する力に優れた学生を求めています。これらの能力は入学後に培われますので、すべてを兼ね備えておく必要はありませんが、論理と実証を基礎とした科学的な心理学の探求に強い関心を持つ人物こそ心理学部の求める人物像です。

主体性・多様性・協働性

入学後は、同志社心理の伝統である「少数教育」に基づいて、教員と学生はもちろん、学生同士もしっかりと向き合っ学び合う機会が設けられます。そのため、他者と協働して社会における問題の解決を試みる行動力を持ち、社会のどのような領域でも活躍できるような幅広い関心やコミュニケーション能力を備えた学生を求めています。

英語

英語の基礎学力やコミュニケーション能力は、大学において広い範囲で一般的教養知識を深めるために必要です。また、心理学部では、心理学の最新の知識を得るために外国書や英語論文を読み込む機会も多くあることから、入学時より高い英語力が求められます。国際社会に貢献する人材となるためにも、高い英語の基礎学力や優れたコミュニケーション能力が求められることとなります。

国語(現代文)

国語の基礎学力は、講義やゼミで文献を読んだり、実験レポートを提出したりする際に必要な能力です。論文で書かれていることを正確に読み取り、自らの実験・調査で得られたデータについて正確な解釈を行うためには、高い国語の運用能力が求められます。また、結果を的確かつ正確に発信する表現力にも国語の能力が求められます。このような読解能力と表現能力は、社会のどのような領域においても根幹となる重要な力となります。

地理歴史・公民

現代社会で発生する多様な問題への感度を高め、理解を深めるには、歴史的な視点と社会情勢に関わる基礎知識を有していることが望まれます。このような知識や感性は、キリスト教主義を原点とした国際的な視点と結びつきながら、現代社会の諸問題を把握し、その解決を目指す行動力につながっていきます。

数学

心理学においては、統計学の手法や知識が求められます。必ずしも、これらを入学前に習得する必要はありませんが、数学的な論理的思考力を身につけておくことが望まれます。客観的な観察力や分析力の基盤といえる統計学の手法や知識は、メーカー、金融、商社、サービス、情報、公共など幅広い業界で有益なツールとなるでしょう。

理科

心理学の一般知識には、脳・神経科学、生理学などに関する分野が含まれます。理科、特に生物についての一定の基礎学力を有していることが望まれます。生物に関する知識は、物事の原理・原則を見抜く力、生命に対する倫理観を培うとともに、健康、保健、福祉、医療などの分野で活躍するための応用力につながります。

高等学校段階までの学習で身につけてほしいこと

実証的視点と高度な知識を身につけ、 社会に広く貢献する人材を育む。

学びの特徴

Point 1

伝統の少人数教育

少人数科目を設置し、
きめ細やかな指導を実現

心理学部では少人数教育を重視しており、学生と教職員の距離が自然に近くなります。1年次のファーストイヤーセミナーから4年次の演習(ゼミ科目)まで、全学年で少人数科目を設置し、きめ細やかな指導を実現します。

Point 2

研究力の向上

興味ある分野を発見して学び、
研究色も高めていく

2年次からは選択科目1より、あらゆる心理学を学べるようになります。「神経・行動」「臨床・社会」「発達・教育」と大きく3つの分野を示すことで、自身の興味・関心がどの分野に向いているのか確認することができます。また知識だけでなく、研究力をつけるために、演習や実習を重ねて行い、研究方法についても学びます。

Point 3

実践力の修得

こころと行動の解明に必要とされる
実践的かつ専門的な技術へとレベルアップ

1年次と2年次で、実験と臨床心理学の基本的な技能を学びます。3年次のアドバンストクラス「心理学実験演習(上級)」、「心理学実験プロジェクト演習」では、実践的かつ専門的な技術へとレベルアップします。

履修プロセス 心理学部 心理学科【2019年度以降生】

		1年次		2年次		3年次		4年次		
		春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	
必修科目	講義系	心理学概論(1)	心理学概論(2) 心理学統計法(1) 外国書講読(1)	心理学統計法(2) 臨床心理学概論	心理学研究法(1) 外国書講読(2)	心理学研究法(2)				
	実習・演習系	心理学実験(1) ファーストイヤーセミナー	心理学実験(2)	心理学実験(3)	心理学データ解析実習		プレ演習	演習(1)	演習(2) 卒業論文	
選択科目I	A群 [神経・行動心理学系科目]			スポーツ心理学／精神生理学／比較認知心理学／神経科学の基礎／食行動の心理学／生理心理学(神経・生理心理学)／学習心理学(学習・言語心理学I)／認知心理学(知覚・認知心理学)／感情心理学(感情・人格心理学I)／行動分析学(学習・言語心理学II)						
	B群 [臨床・社会心理学系科目]			環境心理学／臨床社会心理学／産業・組織心理学／交通心理学／リスク心理学／パーソナリティ心理学(感情・人格心理学II)／健康心理学(健康・医療心理学)／心理学的支援法／精神疾患とその治療／犯罪心理学(司法・犯罪心理学)／実験社会心理学(1)(社会・集団・家族心理学I)／実験社会心理学(2)(社会・集団・家族心理学II)						
	C群 [発達・教育心理学系科目]			発達心理学／乳幼児心理学／ヒューマン・モチベーション／高齢者心理学／障害者・障害児心理学／家族心理学(社会・集団・家族心理学III)／学校心理学(教育・学校心理学)／福祉心理学／教育相談の理論と方法／生徒・進路指導の理論と方法						
	D群 [共通]	心理学情報機器基礎／発達と学習の心理学		心理学史／心理学特論／心理的アセスメント		多変量解析法の基礎／心理学実験プロジェクト演習／心理学実験演習(上級)				
	E群 [公認心理師共通]			関係行政論／公認心理師の職責		人体の構造と機能及び疾病／心理演習		心理実習(1)	心理実習(2)	

プロジェクト型への応用・探求

実験演習や卒業論文執筆は個人研究ではなく、一部を除いてチームを作ってプロジェクト型で実施しています。協力してデータ収集しているために、研究の水準は非常に高いレベルにあります。また、基礎から応用までさまざまな専門分野のゼミが開講されているので、学生がそれぞれに求める心理学を研究できます。

1年次 [基礎]

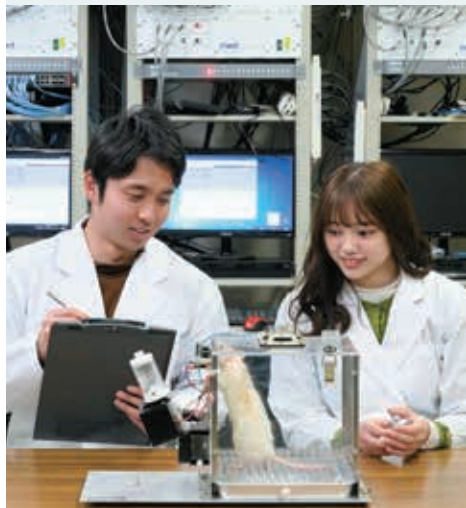
ファーストイヤーセミナー



1年次の必修科目として「ファーストイヤーセミナー」があります。これは少人数のグループで、大学での学びに関する基本スキルを身につけるプログラムです。授業の後半ではグループで選択したテーマについて、ポスター形式の発表を行います。グループワークを通して、仲間や先生と密にコミュニケーションをとり、「考える力」と相手に「伝える力」を育みます。

2年次 [実践]

心理学実験



こころと行動の基本的性質や法則性を科学的に探るには、実験が欠かせません。1年次から続く「心理学実験」では人の記憶や知覚の仕組み、対人場面での行動、動物の学習メカニズムなどに関する実験を実施します。目に見えないこころのプロセスをどのように客観的に測定し、どのように報告するのかなど、サイエンスの手法を段階的に修得します。

3年次 [応用]

心理学実験演習(上級)



「心理学実験演習(上級)」では、自分の興味や卒業研究の計画に応じて、さらに高度かつ実践的なスキルを修得できます。例えば乳幼児の研究などに役立つ行動観察の技術を学ぶクラスや、コンピュータを利用した心理学実験の方法を学ぶクラス、ヒトの心拍数などの生理反応を測定するための解析法を身につけるクラスなどが選択できます。

4年次 [探求]

卒業論文(ポスター発表)



4年次は学びの集大成となります。演習(ゼミ)で学生自身が興味のある分野について卒業論文のテーマを選択し、大学生活を通して学んできたことを活かして、卒業論文を完成させます。完成した卒業論文は教員や学生、またご父母の前でポスター発表を行います。論文作成の中で培われた知識やスキル、経験は将来必ず社会で役立つことでしょう。

企画力や実践力、ディスカッション力など、
さまざまな力を身につける。

本学部では学生の視野を広げるために、3つのコースを設置。それぞれのコースで、複雑なこころの仕組みを探るための多様な専門科目をそろえています。卒業までに全てのコースから3科目以上履修することが求められます。また、1つのコースから6科目以上履修するとコース認定が受けられます。



心と身体、相互の関係の理解を深める演習です。一般的に“嘘発見器”として知られているものに類似した装置を使用し、質問をされた参加者の「心臓の鼓動が速くなる」「汗をかく」「顔が赤くなる」といった反応から、心の動きを推測します。参加者に電極を取り付けて心電図を測るなど、実際の犯罪捜査などで活用されている方法を学生自ら体験できるのが魅力です。もちろん、単にデータとして数値を測定するではありません。得られた結果の読み取り方などについても議論を行い、心身の関係について理解を深めます。また、さまざまな装置を使用した経験は、学生が論文を執筆する際に、実験の選択肢を増やすことにもつながります。

神経・行動

生体の反応から、
心の動きを読み取る。



臨床・社会

検査スキルに加えて、
適切な接し方も学ぶ。

コース名	内容	卒業研究のテーマ(例)
神経・行動心理学コース	近年めざましい発展をみせている最新の脳科学や行動科学を学びます。心と行動の神経・生理的な基盤と行動そのもののメカニズムを中心に学習し、心と行動について生物学的・行動科学的に理解する能力に特に秀でた人材となることを目指します。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 空間認知における脳のはたらき ■ ポリグラフ検査における情報既知性についての検討 ■ 活動性拒食症のラットにおける食事の予期の効果
臨床・社会心理学コース	心の問題の解決を目指す臨床心理学と社会における心と行動の理解を目指す社会心理学を学びます。心の問題を解決する能力と心理学の知識を対人関係の中で活かす能力に特に優れた人材となることを目指します。	<ul style="list-style-type: none"> ■ ストレス条件下における身体反応と感情 ■ うつ症状の臨床行動分析 ■ 返報性の観点からみた試供品配布の効果
発達・教育心理学コース	生涯発達の観点から心の発達と教育に関するメカニズムおよびその支援の基礎知識を中心に学びます。発達や教育に関連する問題について適切な理解と支援を行う能力に特に秀でた人材となることを目指します。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 自由遊び場面における乳児の人見知り行動 ■ 目標が課題達成に及ぼす影響 ■ 児童・生徒における異年齢交流の教育的効果



写真では『ウェクスラー式知能検査』に取り組んでいます。この検査は幅広い年齢を対象とすることができます。その中でも成人向けの『WAIS-III』を実施しました。「絵画完成」「積み木模様組み合わせ」といった動作性検査と、「単語」や「算数」といった言語性検査から構成され、言語性IQ(理解力や記憶力など)と動作性IQ(図形や記号の処理能力など)、そしてそれらを総合した全検査IQに分けて知能水準を算出することが可能です。

また、演習では実験者だけでなく参加者の立場も経験するので、検査のスキルに加えて参加者への接し方なども修得できます。学内の演習で経験を積み、学外での検査にも挑戦します。



発達・教育

信頼関係を築きながら、
楽しませる術を磨く。

さまざまな心の側面を測る心理検査(知能検査、パーソナリティ検査、投影法)について学びます。写真で行われているのは、子どもを対象とした『田中ビネー知能検査』です。ロールプレイを行って参加者となる子どもの知能指数を算出し、得られた結果を解釈・分析する練習も行います。

子どもを対象に検査を行う場合、特に重要なのが参加者とラポール(相互の信頼関係)を築きながら楽しんでもらうこと、そして手際よく正確に進めることです。この演習では、その両方を修得することができます。他にも多様な検査を行うので、心理検査に興味がある人や、臨床心理士を目指している人に適した実習です。

心理学の視点で 『インターネット』に迫る。

メールやブログ、SNSなど今や私たちの生活に欠かせないインターネット。
便利なツールなのは言うまでもありませんが、注意が必要な部分があることも確かです。
ここでは心理学とインターネットの関係に迫ってみましょう。

「顔文字の印象を科学する」

KEY WORDS

感情伝達促進効果

電子メールのメッセージ内容が嬉しいことだった場合、嬉しさを表す顔文字を付けると、相手に嬉しさが増幅されて伝達される現象です。メッセージ内容が怒りや悲しみに関するものである場合は、そのような増幅効果は消失します。

顔文字による勘違いの例

ある女性が事件に巻き込まれました。その女性は電子メールで友達に助けを求めたのですが、なんと顔文字を付けてしまいました。その結果、友達は緊急性が低いと受け止めて、被害者の救出が大きく遅れてしまいました。

Google効果

私たちはインターネット上の検索エンジンを使ってさまざまな情報を簡単に検索することができます。しかし、そのような情報はすぐに忘れてしまうことが実験によって明らかになりました。いつでも検索できるという考えが忘却に関連しているのかもしれない。



顔文字を電子メールのメッセージに付けて送信すれば、より正確な感情を相手に伝達できますね。実際に、1文のメッセージに対して、顔文字を付けない条件、顔文字を1つだけ付ける条件、顔文字を3つも付ける条件を設定し、メッセージの受信者がどのような印象を受けるかが実験されました。その結果、顔文字を1つ付けると社会的で友好的だと感じられましたが、3つ付けると逆に社会的ではないと判断され、友好性も下がりました。つまり、付け過ぎると逆効果になることがうかがわれます。

「認知心理学」
からのアプローチ

「臨床
からの

「ネット依存を改善する」



KEY WORDS

行動分析学

行動分析学は、ヒトの諸活動を、環境と個体との相互作用(=行動)から探求し、行動に関する因果法則を明らかにしていこうとする科学のことです。



「社会心理学」 からのアプローチ

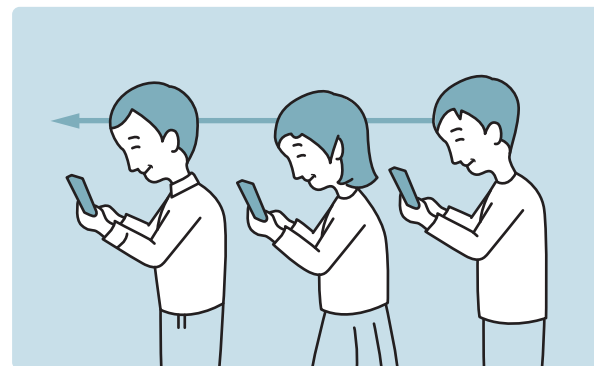
「心理学」 アプローチ

「ネット依存」は、アルコール、ニコチンなどの物質の過剰摂取による依存症とは質的に異なります。しかし、自分の意思で、ネット使用が止められなくなり、日常生活に支障が生じてしまう、という点では似ています。そのため「誘惑に負けない心を育てれば、つまり意志を強くすれば、依存は改善できる」と考えがちです。しかし、そのような発想では、いっこうに依存は改善されません。実は、不適切なネット使用にも、第三者から観察することができる「本人も気づいていない理由」があるのです。それを科学的に調べ、整理し、その人に合った改善方法を見つけていきます。この方法は、専門的には行動分析学と呼ばれ、一般的には認知・行動療法の基礎の1つとして知られています。

認知・行動療法

クライアントの不適応な状態に関連する行動・情緒・認知的な問題を標的とし、行動科学の諸理論や行動変容の諸技法を用いて、それを軽減するとともに、適応的な反応を生起させていく治療法のことです。

「フェイスブックの心理実験」



2014年に発表された69万人のフェイスブックユーザーを対象とした心理実験の結果は大きな波紋をよびました。フェイスブックのニュースフィードの表示から、ポジティブな表現を含む項目を減らすよう操作したところ、ポジティブな投稿が減り、ネガティブな投稿が増えるというように、ユーザーの感情が伝染していくことがわかったのです。ただし注目を集めたのは、直接対面することなくSNSにより感情の伝染が生じるという結果のインパクトではなく、無断で実験台にされたというユーザーの怒りが噴出した点です。フェイスブックの利用規約でユーザーはデータの使用に同意しており、民間企業が実施したため研究倫理審査委員会の審査対象とはならなかったという擁護論はありますが、フェイスブック社は実験が不安をかきたてたことについて謝罪をしています。

KEY WORDS

感情伝染

ある人が感じているポジティブまたはネガティブな感情を周りの人も同じように感じるようになる現象のこと。主に直接やりとりする中で、表情や身振りといったノンバーバルな表現を通じて伝わるとされています。

研究倫理審査委員会

研究を行う際に、実験や調査の対象となる人や動物に与えるリスクを第三者がチェックするための機関。大学での心理学の研究は、倫理面で問題がないか、必ず審査を受けます。

現代社会のあらゆる課題に対応するために 心理職初の国家資格『公認心理師』を知る。



公認心理師とは

公認心理師とは、保健医療、福祉、教育などの分野において、心理学に関する専門的知識や技術をもって、支援を必要とする人の心理状態を観察・分析し、相談・指導したり、その関係者に助言したりする専門職です。

2017年に施行された公認心理師法に基づき、同志社大学心理学部および大学院心理学研究科では、受験資格を得られる教育体制を構築しています。

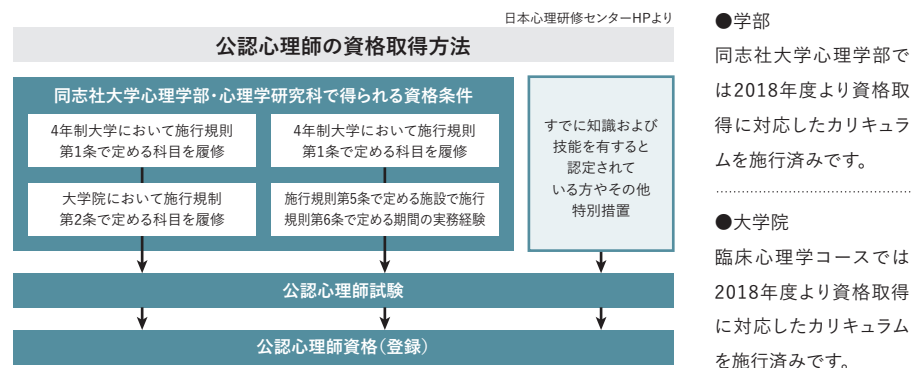
期待される活躍の場

公認心理師は、さまざまな場で関係する多くの職種の人たちと連携して、それぞれの役割を理解し、チームの一員として専門性を発揮しつつ、個々の状況に応じた支援を行います。

- 例) ・病院などの保健医療 ・学校などの教育 ・児童相談所や福祉事務所などの福祉
・矯正施設などの司法 ・会社などの産業

公認心理師になるには

文部科学省、厚生労働省(以下、両省)が定める条件を満たして大学を卒業することが受験資格を得る第一条件となります。両省が定める条件を満たして大学院を修了することで受験資格を得ることもできます。



他の関連資格

一定の業務と義務行為を法律で定められている国家資格である公認心理師のほかに、心理学を専門とする民間資格もあります。同志社大学心理学部では、学生の多様な要望に対応できる環境を整えています。

- 学部
認定心理士／認定心理士(心理調査)
同志社大学心理学部を卒業時に「日本心理学会」が定める条件を満たした場合、任意で認定申請ができます。(職能資格ではありません)
- 大学院
臨床心理士
臨床心理学コースは「日本臨床心理士資格認定協会」の第1種指定校の認定を受けています。そのため、臨床心理学コースを修了時に条件を満たしている場合は、受験資格が得られます。

多種多様なゼミでの研究で こころに対する見聞を広めていく。

及川 昌典ゼミ

人の心の不思議(判断、感情、動機づけなど)について
社会心理学の観点から探求します。

他でもない自分自身の心の問題が、思い通りにならないのはなぜでしょうか。人間の心には意識できる側面だけでなく、意識できない側面が関与していることに注目して研究をしている及川先生。ゼミでは、意欲的な学生たちが無意識の心の働きを実験的に操作する方法や、無意識の内容を測定する手続きなどを用いて、独創的なテーマで卒業研究を進めています。



Key Words > 意識と無意識 / 自己と他者 / 個人と社会

大屋 藍子ゼミ

心理学は「生きていくこと」に直接関わる学問。
人々を支援する有効なツールとして社会に役立ててほしい。

臨床心理士/公認心理師としてチーム医療にも参画している大屋先生。人の心理を行動分析学の観点から深く探究し、その成果を社会の各分野で積極的に活かし、貢献することを主眼にしています。ゼミ生の活発な発言を実現するために、大屋先生自身の研究テーマである「行動変動性」も積極的に応用しています。

各自が試行錯誤をすることによって新たな行動が拡大し、思い切って発言したことが認められるという成功体験を実感できる取り組みを行っています。



Key Words > 創造的行動 / 生活習慣 / QOL (Quality of Life)

武藤 崇ゼミ

ことばのもつ影響力を見極めメンタルヘルスに
役立つ新たな方法を開発する。

行動分析学(臨床行動分析)の専門家であり、公認心理師/臨床心理士でもある武藤先生。人間の心理・社会的な問題(深層心理も含め)を「行動と環境との相互作用」の観点から捉え直し、新たな問題解決の開発やウェルビーイングの拡大のために、日々研究や実践をされています。ゼミでは、学生の日常的な問題意識を行動分析的に検討し、ユニークな発想を創出するように取り組んでいます。とくに、人間が自分の器官のように使っている「ことば」に焦点を当て、それが持っている影響力(そのダークサイドも含め)について研究を行っています。



Key Words > 行動 / ことば / ウェルビーイング

この他にも魅力的なゼミを
心理学部ホームページで
ご紹介しています。



神山 貴弥ゼミ

学校適応 / 予防的取組 / 非認知スキル



竹原 卓真ゼミ

コミュニケーション / 顔認知 / 感情



興津 真理子ゼミ

親子 / 信頼関係 / 夫婦

詳細はこちらから
ご確認ください。

【URL】https://psych.doshisha.ac.jp/faculty/pickup/#L_navi



Graduate School

さらなる専門性を究める 同志社大学大学院 心理学研究科。

本学では、1961年に文学研究科心理学専攻修士課程、1964年に同博士課程が設置され、2009年度から心理学研究科となりました。さらに、2011年度からは前期課程に臨床心理学コースも設置しました。長きにわたり、サイエンスとしての心理学を基礎とした高度な知識・技術の総合的学習と研究能力の涵養を目指し、基礎研究領域と臨床実践領域のいずれかに偏ることのない総合的な教育研究を展開しています。

国際性豊かで実践的な教育プログラムを通じ、 現代社会のニーズに応じられる専門家を育成

現在、こころの問題は社会において広がりを見せ、病院だけでなく、企業、教育、司法の現場などで重視されています。本研究科では、実験心理学的アプローチをベースに、産学官の領域を超えた研究や実践活動を積極的に企画・実施できる人物を育成するために、斬新な教育プログラムを展開しています。また、同志社大学のスケールを活かして海外の研究者と活発な交流が行われています。心理学の専門家として科学の発展に貢献するために、自律的に研究を展開させる意欲と能力を備えた学生を求めています。

心理学研究科

前期課程

心理学研究科心理学専攻博士課程(前期)は、心理学について実証的立場からの高度な知識の蓄積を目的とするが、さらに基礎的実験技術の習得、また応用面での臨床的技術の習得を行い、本専攻で培った知識・研究方法を背景に、教育・司法・行政等の職種を中心とした健全なこころの成長に貢献できる人物を育成し、基礎的な問題から応用的諸問題にまで対応できる問題解決能力を持った研究者及び教育者の養成を目的とする。

心理学コース

本コースでは、心理学について科学的立場からの高度な知識の蓄積を目的とするが、さらに、基礎的実験技術の習得、プロジェクト企画・遂行能力の育成を行い、本専攻で培った知識・研究方法を背景に、教育・司法・行政及び各種企業での基礎的な問題から応用的な諸問題まで対応できる問題発見能力、問題解決能力を持った人材を養成することを目的とする。

求める力：心理学に関する幅広い基礎知識／研究運用能力(研究構想力、実践力、分析・考察力)

臨床心理学コース

財団法人 日本臨床心理士資格認定協会

第1種指定校

公認心理師(国家資格)

2018年度より受験資格に対応したカリキュラム施行
文部科学省・厚生労働省 確認済

本コースでは臨床心理学の知識の充実と、臨床における実践的な技能の習得を目指している。臨床心理学における方法論は多様であるが、本コースでは特に科学的視点に立ち実証的なアプローチを行うことを重視している。このような教育の姿勢を背景に、心理臨床センターにおける実践、学外研修における実践などを通して、研究能力を持ち実社会に貢献できる人材を育成する。

求める力：心理学に関する幅広い基礎知識／研究運用能力(サイエンティスト)／臨床実践力(プラクティショナー)

後期課程

心理学研究科心理学専攻博士課程(後期)は、前期課程において習得した心理学研究の知識・技術を基盤として、心理学における高度な専門的知識と研究能力を身につけた研究者を養成し、大学における専門分野の研究にとどまらず、産官学分野にまたがって基礎的な問題から応用的諸問題にまで対応できる問題発見能力とそれに対する解決能力を持った研究者及び教育者を養成することを目的とする。

各コースの担当教員

詳しくはP.17-18

心理学コース

臨床心理学コース

- | | | | | |
|------------|------------|------------|------------|-----------|
| 青山 謙二郎(教授) | 中谷内 一也(教授) | 内山 伊知郎(教授) | 石川 信一(教授) | 杉若 弘子(教授) |
| 畑 敏道(教授) | 竹原 卓真(教授) | 余語 真夫(教授) | 武藤 崇(教授) | |
| 神山 貴弥(教授) | 田中 あゆみ(教授) | 及川 昌典(教授) | 興津 真理子(教授) | |
| 藤村 友美(准教授) | | | | |

学内・学外実習

学内実習

臨床心理学コースでは、「同志社大学心理臨床センター」を活用し、学内実習を行っています。学内実習では、指導相談員（臨床心理学コースの大学教員）、専任の相談員といった臨床心理士の有資格者とともに実践を学びながら、伝統の少人数教育を継承したきめ細やかな教育が受けられます。

実習例 ケース陪席・担当／プログラム実習／アセスメント実習

学外実習

学外実習には、保健医療分野、教育分野、福祉分野、産業・労働分野や司法・犯罪分野の実習施設があります。なお、事前の予告なく記載している実習先施設を変更する場合があります。実習希望者は複数の施設について学外実習を行うことができます。

保健医療分野

- ・医療法人栄仁会
京都駅前メンタルクリニック
バックアップセンター・きょうと
- ・医療法人栄仁会 宇治おうばく病院
サポートセンターみらい
- ・医療法人栄仁会 宇治おうばく病院
臨床心理学
- ・京都府立医科大学附属病院 等

教育分野

- ・同志社中学校
- ・同志社国際中学校
- ・京田辺市教育委員会
適応指導教室(ポットラック) 等

産業・労働分野

- ・株式会社 ジャパンEAP
システムズ 関西支社

福祉分野

- ・児童養護施設 京都大和の家
- ・その他情緒障害児短期治療施設や
児童自立支援施設
- ・株式会社 LITALICOワークス
京都駅前、四条大宮 等

司法・犯罪分野

- ・法務少年支援センター京都
(京都少年鑑別所)

Pick up Research

1 リスクを正確に認識する力が 緊急時にあなたの生命を救う

心理学部心理学科 中谷内 一也教授

人間は異常なことが起こっても、どこかに正常な部分を見つけて普段通りだと思い込もうとする心理が働きます。それが大きく表れたのが東日本大震災。津波の危険性を知りながらも、なかなか逃げだせない人がたくさんいました。リスク認知を行動につなげるにはどうすればよいのか。認知のメカニズムを活かした研究で誰もが安心して暮らせる社会を目指します。



2 子どもたちの明るい笑顔のために 不安を抱えた心を支える

心理学部心理学科 石川 信一教授

子どもは必要以上に不安を抱えてしまうことがあります。そんな子どもたちを支援するのが、認知行動療法の理論に基づいた不安改善プログラム「いっチャが教室」です。「いっチャが」とは、宮崎県の方言で「気にしなくてもいいよ」という意味。不安の正体を自覚してもらい、子どもたち自身の気づきにつなげることで、多くの子どもが不安を克服しています。



各種研究支援制度

補助金制度

同志社大学大学院心理学研究科では、研究生の教育・研究に対してさまざまな角度からこれを助成し、よりよい教育を受け、研究に専念できるよう環境の充実に努めています。

補助金例 ※事前の周知なく変更する可能性があります。

- ・国内学会への参加にかかる交通費 ・学外共同研究にかかる交通費・宿泊費 ・各種コピーにかかる費用
- ・刊行物の閲覧にかかる費用 ・論文の抜刷にかかる印刷費 ・海外学会への参加にかかる交通費
- ・英文校閲費用 ・論文投稿料

奨学金制度

同志社大学では、誰もが安心して学業に専念できるよう、同志社大学独自の奨学金を豊富に設けており、日本学生支援機構奨学金や民間・地方公共団体奨学金とあわせて総合的なサポートを行っています。

ポイント

- ・給付制・貸与制(無利子)の奨学金が充実 ・採用実績・採用人数が多い ・種類が豊富 ・複数の奨学金を受給可能

日本学術振興会(学振)における特別研究員制度について

特別研究員制度は、優れた若手研究者に対して、自由な発想のもとに主体的に研究課題等を選びながら研究に専念する機会を与え、研究者の養成・確保を図る制度です。研究者としての道を歩むために必要なキャリア形成として、論文等の発表を重ね、博士学位を取得することはもとより、博士後期課程在学中に日本学術振興会特別研究員に採用されることが、研究職のポジションをステップアップさせる上で大きなアドバンテージになります。特別研究員に採用されると、研究活動に専念できるよう奨励金が支給されるだけでなく、研究費が補助されることから、博士学位論文に必要なリサーチワークが大きく前進します。本学においても、毎年多くの大学院生が応募し、これに採用されています。

Academic Portfolio

「ALL DOSHISHA教育推進プログラム」採択プログラム

アカデミック・ポートフォリオを活用した セルフ・プロデュース型キャリア能力開発システムの構築

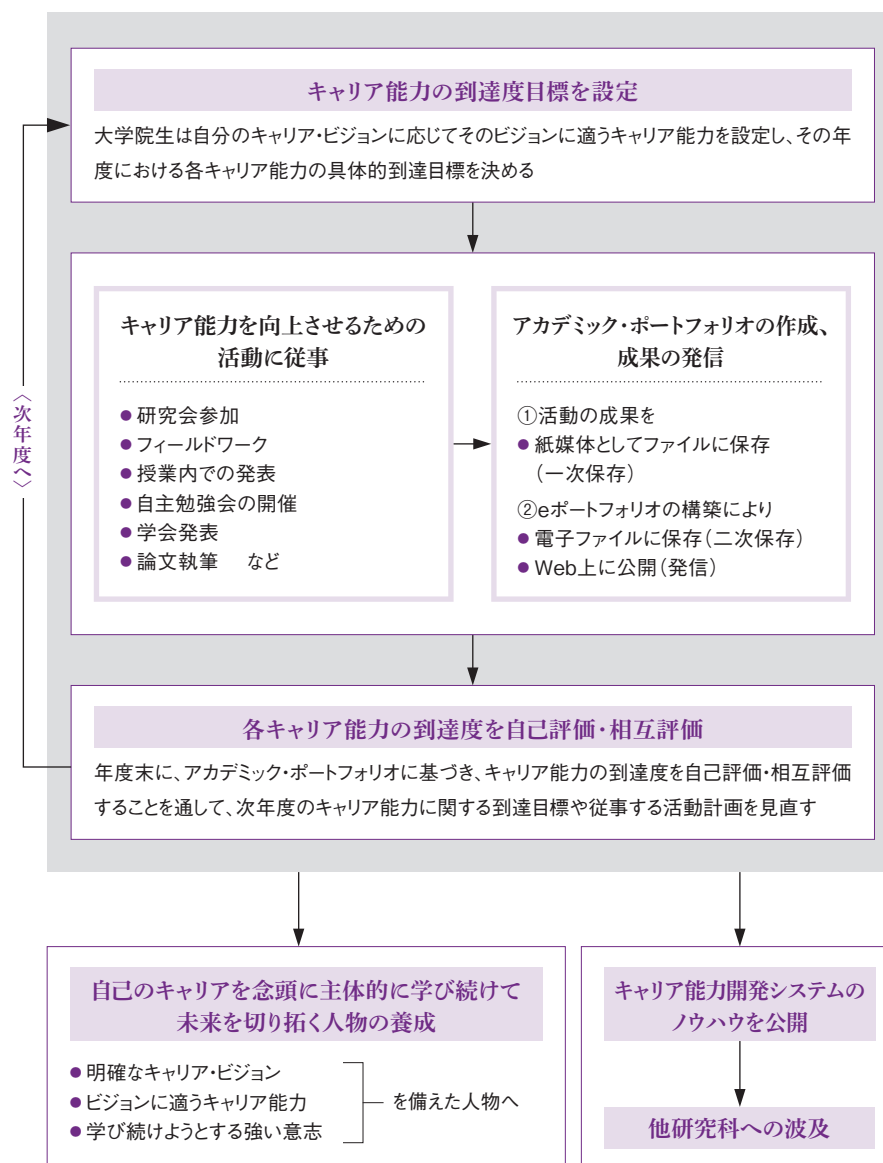
本取組みを通じて、個々の大学院生のキャリア・ビジョンに応じたきめ細やかな研究・実践指導、ならびに活動支援を行い、自己のキャリアを念頭に主体的に学び続けて未来を切り拓く人物の養成に努めています。



※ポートフォリオサンプル画面



セルフ・プロデュース型 キャリア能力開発システム



ポートフォリオや大学院生メッセージはこちらからご確認いただけます >> <https://psych.doshisha.ac.jp/graduate/>

伝統と革新

History

90年超の伝統を
受け継ぎ進化する、
同志社心理の歩み。

2009年4月、同志社大学12番目の
学部として開設された心理学部。

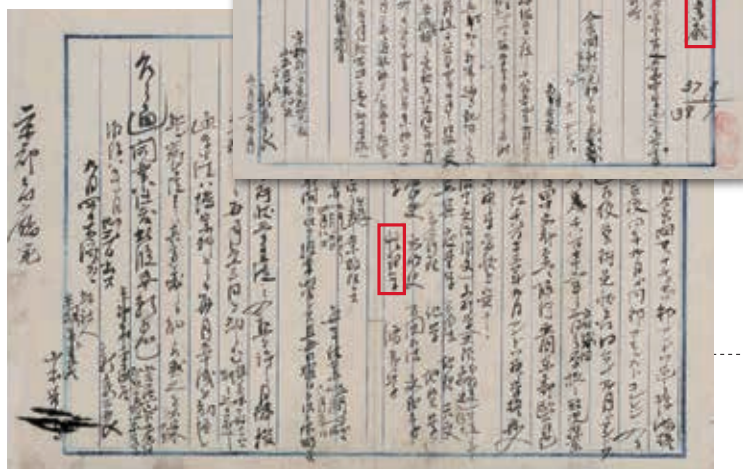
本学と心理学との関わりは古く、

1927年より本格的な実験心理学の
研究・教育を進めてきました。

今後も長年の伝統と精神はそのままに、

次代を見据え、新しい分野や

国際化にも対応していきます。



- 2019 心理学部・心理学研究科 開設10周年記念事業を挙行
- 2018 「公認心理師」に対応したカリキュラム施行
- 2014 「こころの科学研究センター」を設置
※2022年度をもって閉鎖
- 2013 「実証に基づく心理トリートメント研究センター」を設置
※2015年度に「実証に基づく心理・社会的トリートメント研究センター」に名称変更
- 2012 心理学研究科 心理学専攻臨床心理学コースが、
財団法人日本臨床心理士資格認定協会第1種指定大学院に認定
- 2011 心理学研究科では、「心理学コース」「臨床心理学コース」の2コース制がスタート
- 2010 今出川校地・継志館に「心理臨床センター」を開設
※2019年度に新町キャンパス・尋真館へ移転
- 2009 心理学部・心理学研究科を開設
これまでの教育目的の根幹である「こころと行動の基本的性質と法則性を実験や調査などを通して実証していく」と、「こころと行動に関する臨床・応用研究と実践活動に取り組む」という2つの目的を不可欠な両輪として捉え、2009年に世界水準の新たな学部・研究科の開設を実現しました。次代を見据え、世界的潮流に応えた、良心を手腕に運用する人材の輩出を目指しています。
- 2008 「赤ちゃん学研究センター」を設置。
※現在は研究開発推進機構の組織として活動中
- 2007 文部科学省大学院教育改革支援プログラムに採択される。
- 2005 文学部の改組により心理学科を設置。また「こころの生涯発達研究センター」「感情・ストレス・健康研究センター」を設置。
- 1986 京田辺校地開校に伴い、京田辺心理学実験室を設置。
- 1967 文学部文化学科において教育学専攻と心理学専攻に分離。
- 1964 大学院文学研究科に心理学専攻博士課程を設置。
- 1961 大学院文学研究科に心理学専攻修士課程を設置。
- 1948 新制大学の発足とともに、文学部文化学科教育学および心理学専攻として再出発。遠藤江吉、松山義則の各教授が中心となり、新時代の心理学研究・教育の基盤整備を進める。
- 1927 **実験心理学の歴史と伝統は、ここから始まった**
1927年に文学部哲学科心理学専攻を設置。以来、実験心理学研究を究めていく本学の心理学実験室の伝統が刻まれてきたのです。初代教授の1人、本宮弥兵衛は東京慈恵会医院医学専門学校で医学を学び、同志社神学校で神学を学んだ後、オベルリン大学、イエール大学で実験心理学を修め、本学における心理学実験室の礎を築きました。
- 1875 **新島襄によって開講された同志社英学校の科目「性理学(心理学)」**
本学における心理学の研究・教育の起源は、同志社大学の前身である官許同志社英学校まで遡ります。新島襄が1875年に京都府庁に提出した「私塾開業願書」に開講科目の1つとして「性理学(心理学)」が記されています。日本の現代心理学の礎を築いたとされる東京帝国大学の初代教授となった元良勇次郎と、京都帝国大学の初代教授となった松本亦太郎は、ともに同志社英学校草創期の学生でした。



教員紹介

Professors

あなたの知的好奇心に応える、
心理学エキスパート。

それぞれの[専門領域][現在の研究テーマ]を紹介。
心理学のエキスパートとともに、心理学の世界へ踏み出しましょう!

青山 謙二郎 教授

- [専門領域]**
- | 学習心理学
 - | 行動分析学
 - | 食行動の心理学
- [現在の研究テーマ]**
- | 食べる行動の実験心理学的研究
 - | 衝動的行動の行動分析学的研究
 - | 動機づけ行動のセッション内減少



内山 伊知郎 教授

- [専門領域]**
- | 発達心理学
 - | 交通心理学
- [現在の研究テーマ]**
- | 乳幼児から高齢期までの発達心理学
 - | 交通安全の発達心理学



津田 菜摘 助教

- [専門領域]**
- | 臨床行動分析
 - | 臨床社会心理学
- [現在の研究テーマ]**
- | 精神疾患に対するスティグマ低減のためのアプローチ



中谷内 一也 教授

- [専門領域]**
- | 社会心理学
 - | リスク心理学
- [現在の研究テーマ]**
- | 災害や各種リスクに対する認識と行動



藤村 友美 准教授

- [専門領域]**
- | 精神生理学
 - | 感情心理学
- [現在の研究テーマ]**
- | コミュニケーションの心理的・生理的基盤の解明



興津 真理子 教授

- [専門領域]**
- | 家族心理学
 - | 臨床心理学
- [現在の研究テーマ]**
- | 家族造形法による事例検討がもたらす効果について
 - | グリーフケアにおける家族へのアプローチ



毛利 真弓 准教授

- [専門領域]**
- | 犯罪心理学
 - | 臨床心理学
- [現在の研究テーマ]**
- | 性暴力に対する治療教育
 - | 共同体と関係性を基盤とする犯罪行動変化への介入(特に刑務所内治療共同体)
 - | 犯罪行動を手放す(離脱)プロセス



畑 敏道 教授

- [専門領域]**
- | 生理心理学
 - | 行動学的神経科学
- [現在の研究テーマ]**
- | 時間評価や記憶の脳内過程に関する研究



武藤 崇 教授

- [専門領域]**
- | 臨床言語心理学
 - | 生老病死を考える心理学
- [現在の研究テーマ]**
- | 言語行動理論(関係フレーム理論を含む)による心理療法場面におけるプロセス研究
 - | アクセプタンス&コミットメント・セラピー(ACT)に関するプロセス、アウトカム研究
 - | 家族の認知症介護負担感の支援方法に関する研究
 - | 人が抱える根源的な苦悩(生老病死)に関する研究



竹原 卓真 教授

【専門領域】

- 認知心理学
- 複雑系心理学

【現在の研究テーマ】

- 複雑系や複雑ネットワークを通じた認知心理学的研究



石川 信一 教授

【専門領域】

- 臨床児童心理学
- 【現在の研究テーマ】

- 子どもを対象とした認知行動療法
- 学校ベースのメンタルヘルス予防プログラム
- 児童青年期における異常心理学的研究



津田 裕之 助教

【専門領域】

- 認知心理学
- 視覚心理学
- 認知科学

【現在の研究テーマ】

- 知覚、記憶、意識などについての実験心理学的研究
- 顔魅力や芸術などについての感性心理学的研究
- VRや画像解析などの技術を用いた研究



及川 昌典 教授

【専門領域】

- 社会心理学

【現在の研究テーマ】

- 意識と無意識
- 自己と他者
- 自由意志



神山 貴弥 教授

【専門領域】

- 学校心理学
- 教育社会心理学

【現在の研究テーマ】

- 開発的・予防的生徒指導と子どもの心理・社会的発達
- 感情欲求が態度に及ぼす影響



神原 広平 助教

【専門領域】

- 臨床心理学
- 認知行動療法

【現在の研究テーマ】

- 抑うつに対する予防的アプローチ
- ネガティブな考え込み(反すう)と抑うつの関係の検討
- 反すうに対するWebベースのプログラムの開発
- 高等学校等におけるユニバーサルな抑うつ予防プログラムの開発 など



余語 真夫 教授

【専門領域】

- 臨床社会心理学
- アフェクティブ・サイエンス(感情科学)

【現在の研究テーマ】

- 感情の生成と変容における言葉の役割の実験心理学的研究



田中 あゆみ 教授

【専門領域】

- ヒューマン・モチベーション

【現在の研究テーマ】

- 達成目標の効果に関する研究
- 自律性・自己決定とその支援に関する研究



杉若 弘子 教授

【専門領域】

- 臨床心理学
- パーソナリティ心理学

【現在の研究テーマ】

- 個人と状況に応じたセルフ・コントロール
- ソーシャル・サポートの授受とメンタルヘルス
- 心理療法に対する期待と好み



大屋 藍子 准教授

【専門領域】

- 臨床行動分析

【現在の研究テーマ】

- 糖尿病・肥満症患者への心理・社会的支援に関する研究
- 行動変動性の増大に関する研究



施設・設備

Facilities

先進の
実験実習施設を備えた
充実の環境。

京田辺キャンパス^{ちしよう}・知証館南館に
実験施設が整備され、
さらに香柏館^{こうはく}にも研究室や
プロジェクト演習室が設置されました。
同志社心理ならではの
実験的手法を重視した教育と研究を、
発展させていく環境と設備が整っています。



電気音響シールドルーム
脳の働きなど微細な生体現象を測定する部屋です。



3次元顔画像撮影解析装置 (VECTRA)
人間の顔を3次元で撮影することができ、あらゆる方向から解析することができます。



プロジェクト演習室
レポート作成などを主体的に行うための拠点として利用します。



機能的近赤外線分光法 (fNIRS)
生体透過性の高い近赤外光を頭部に照射し、生体内から反射される光の一部を検出することで、脳表面の活動状態を可視化する装置です。



PCコーナー
全学生が本学のパソコンおよびネットワークを利用可能です。



スキナー箱
ラットにレバー押しでの学習をさせる装置です。



一方向気流式飼育システム
最大160匹のラットが飼育可能な自動給水・洗浄ラックを導入しています。



フリーラウンジ
学生が自由に学習できる部屋です。



大学院共同研究室
大学院生用に机やパソコンを整備した部屋です。



クライオスタット
脳切片の標本を作製するための装置です。



モニター室
他の部屋の様子を映像でモニタリングします。



手術室
脳の外科的処置や薬理的処置を行います。



行動観察室
主に実習授業で面接の練習や行動観察に使用します。



グループセラピー室
グループを対象とした心理療法を行う部屋です。



視線計測装置
認知行動の解析を行うための装置です。

Talk Session

数値や指標から心を知る 楽しさに触れて。

目に見えない「人の心」を科学的に分析する同志社の心理学。その分野は多岐にわたり、あらゆるものが研究対象になります。生理指標を用いた感情やコミュニケーションに関する研究を専門とする藤村先生と、4名のゼミ生に、同志社心理で得た学びや力について語っていただきました。

初めに、心理学部を志望した理由と入学後に感じたことを教えてください。

浦西さん：高校生の時オープンキャンパスで模擬講義を受け、心という曖昧なものを研究する心理学の手法に興味を持ったことがきっかけでした。1年次から実験ができ、色々な研究法を学べたのが良かったです。

檜垣さん：私もオープンキャンパスがきっかけです。模擬講義で、文系出身でも科学的な考え方を学べると知り心理学部に惹かれました。入学当初は統計学や英語の論文講読など初めてのことに不安もありましたが、基礎からわかりやすく教えてもらったので理解しやすかったです。

渡邊さん：家族が心理カウンセラーの方にお世話になっていたことから心理学を学んでみたいと思っていました。神経の仕組みや生理反応から人の心の動きを知れたり、乳幼児から高齢者まで年代ごとの心理学があったり、人が関わるすべてを研究対象にできることが意外でした。

石黒さん：私も心理学の幅広さには驚きました。もともとテレビで建築物の設計に心理学を応用している事例を知り、人の行動に関する研究が実生活に活用できることが面白そうと感じて心理学部を志望しましたが、幅広い分野を学べたおかげで心理学に対する理解や興味がより深まりました。

藤村先生：学部としては子どもの発達支援やカウンセラーなど臨床系の仕事を志望して入学する学生が多いです。私の専門は感情心理学と精神生理学なので、心拍や発汗などの生理指標を用いて感情やコミュニケーションの実験的研究を行っており、浦西さんの体験したうそ発見器もその一種。そこに興味を持ってこのゼミを志望してくれる学生もいますね。

研究テーマについて教えてください。

渡邊さん：私のテーマは、緊張する場面において自分が作る表情によって緊張が緩和されるかどうかです。被験者を笑顔群と無表情群に分けて、スピーチ前にそれぞれの表情を作らせ、質問紙や心拍数の測定によって緊張の緩和度合いを調べました。笑顔群の方が緊張は緩和されるという仮定に反して、明確な差は見られませんでした。

浦西さん：私も思うような結果は出せなかったですが、「だからダメでした」ではなくなぜその結果になったのか、その根拠まで考えるところに研究の難しさとそれを上回る面白さを感じました。

檜垣さん：私は募金活動が身体的ストレス反応の回復に与える影響について研究しました。被験者には生理指標を測定しながら募金をしてもらうので、当人に疑問を抱かせない自然な手続きの組み立てに苦労しました。

藤村先生：オンラインも活用し、都度相談に乗っていましたが、皆さん試行錯誤しながら工夫して研究を進められましたね。

石黒さん：はい。私の研究はガムを用いて咀嚼と記憶の関連を調べるものでした。ガムを噛んでいる間やその直後では記憶力が上がるという

先行研究があり、そこから発展させて、噛むという行為だけでも似た効果があるという結果を得られました。テーマから実験、考察まですべて自分たちで作り上げる経験は楽しく、前向きに取り組めたと思います。

4年間で成長したと感じる点はどこですか。

藤村先生：論文の書き方を学び、実際に自ら実験・調査を行ってデータを取得・分析することで、根拠をもとに自分の考えを主張する力が養われます。そういう姿を見ていると、成長を感じますね。

石黒さん：そうですね。膨大な論文を読んで要点をつかみ、内容を整理して発表することで身についた論理的思考力や話す力は、就職活動においても履歴書や面接で活かしました。

浦西さん：発表は自分だけでなく、グループで行うものもあります。少人数のグループで課題に取り組む際にどう役割分担をし、円滑なコミュニケーションをとるか工夫した経験は、確かな自信になりました。

渡邊さん：実験やレポートが多く、限られた時間の中でいかに効率的に課題に取り組むかを考えて動いていたので、スケジュール管理能力も身につきましたね。社会に出てからも役立つ習慣だと思います。

檜垣さん：私は大学で学んだことを直接活かせる心理学の専門職を目指していたので、幅広い心理学を体系的に学べたことで公務員の専門試験にも知識を発揮できました。



檜垣 祈りさん
[内定先]
宮城県警察 科学捜査研究所

卒業後の進路について教えてください。

檜垣さん：公務員の心理職として、科学捜査研究所に勤めます。大学で培った知識や技術を使うだけでなく、それを土台として新しいことをどんどん吸収してスキルアップしていきたいと思っています。

石黒さん：私の就職先はIT業界。常に新しい知識へのアップデートが求められる仕事ですが、大学で得た学ぶことを楽しむ姿勢が活きるはずですよ。

渡邊さん：自分の努力に対する評価が報酬に直結する仕事に就きたいので、コロナ禍でも業績を上げていた不動産の営業職を志望しました。中でも都内で高級不動産を販売するという限定的な業務内容で、自分と住む世界の違う人たちと関わることに惹かれて内定先を選びました。研究のように、困難があっても諦めず頑張っていきたいです。

浦西さん：大学で統計ソフトを扱い、心という抽象的なものを研究する手法を学べたことから、アイデアやサービスという形のないものをプログラムに落とし込み実現するシステムエンジニアという仕事に興味を持ちました。これから壁にぶつかった時も、先入観や通説だけで解決にあたるのではなく、原因を考えながら取り組んでいきたいと思っています。

いる点が特色。動物を対象に実験しつつ、カウンセラーに必要な基礎も学べる学部はなかなかありません。自分で実験・調査をして疑問を解き明かしていく過程を面白がれる人には、大いに魅力を感じてもらえるはずです。

渡邊さん：心理学は生きていく上でずっと身近な存在なので、半永久的に学び、実践できます。学び甲斐のある学部だと思うのでおすすめです。

浦西さん：「心理学のコレが学びたい!」と決まっている人にはもちろん、「何となく興味がある」という人でも、知識への探究心と好奇心さえあれば必ず学びたい分野が見つかる学部です。

檜垣さん：細胞レベルから社会全体のことまで幅広いものを研究対象にする心理学部では、単なる知識だけでなく新しい考え方や物事の捉え方を身につけられます。学んだことは専門職以外に他の職種や日常生活でも役に立つことばかりです。

石黒さん：心理学の分野は多種多様。色々なことに興味を持てる好奇心旺盛な人は、心理学部での学生生活を楽しく過ごせると思います。また、数学がデータの分析で、化学が基礎心理学で、英語が論文抄読で、国語が論文執筆で活きます。受験勉強がその先でも無駄にならないと信じて頑張ってください。

最後に、高校生へのメッセージをお願いします。

藤村先生：同志社の心理学部は基礎と応用のどちらも大事にして

— ありがとうございます。



石黒 中さん
[内定先]
株式会社CLIS



藤村 友美先生
心理学部 准教授



浦西 菜々美さん
[内定先]
株式会社システムサポート



渡邊 孝星さん
[内定先]
株式会社
ケン・コーポレーション



海外出向者のモチベーション向上に貢献していく。



アメリカに住んでいた幼少期から日本人と関わる機会が多く、日本で心理学を学びたいと思っていました。充実した設備と実験などの実践的な学びに惹かれ、同志社心理へ。大学で外国人留学生や留学を目指す日本人学生を支援することに喜びを感じていたため、卒業後もその経験を活かせる企業の海外人事を志望しました。現在の主な仕事は海外出向者のサポート。事務手続き以外に海外での働き方についてサポートすることも。そんな時には産業心理学や教育社会心理学で学んだ組織の在り方や集団に関する知識が発揮されます。社員に安心と働きがいを与えられるこの仕事に、誇りを持って取り組んでいます。

京セラ株式会社
海外人事部・地域担当

プラット カトリーナさん 2021年卒業



佐賀県の子どものためのより良い生活と笑顔のために。



私は今、佐賀県庁の心理職員として、児童相談所や知的更生相談所で子どもや保護者の方との面接・知的な障害のある方の障害の程度の判定を行っています。きっかけは大学の学校心理学の講義で募集されていた児童相談所でのボランティアに参加したこと。さまざまな課題を抱える子どもと触れ合う中で、私も子どもとご家族の力になりたいと思うようになりました。心理学部で行動のメカニズムや発達・臨床の基礎など幅広い分野の心理学を学べたことが、今子どもたちの言動に対する理解や支援に活かせていると感じます。今後も子どもたちの笑顔とより良い生活のために、日々勉強し、スキルを磨いていきたいです。

佐賀県庁
健康福祉部 総合福祉センター(児童心理司・心理判定員)

吉村 未来さん 2019年卒業

心理学部 Career Story

一般企業や病院、公務員など多様な進路を実現してきた卒業生たちの声を心理学部ホームページでご紹介しています。



▼ 詳細はこちらからご確認ください。



https://psych.doshisha.ac.jp/career/story/#1_navi

※掲載している所属先名や写真等はすべて取材時のものです。

就職・進路

Career

多彩な分野への 就職・進学が可能です。

学校教諭免許や公認心理師／認定心理士などの資格取得、
企業や公務員など幅広い業界への就職実績があります。
また、高度な知識と技術を学ぶ大学院への進学、
その専門技能を活かした心理家への道もあります。

取得できる免許・資格

- 小学校教諭1種^{*1}
- 中学校教諭1種(社会)
- 高等学校教諭1種(公民)
- 図書館司書
- 学校図書館司書教諭
- 博物館学芸員

※1 神戸親和大学通信教育部児童教育学科および佛教大学教育学部教育学科(通信教育課程)との提携による

関連資格

詳しくはP.11

- 公認心理師(国家資格)^{*2}
- 臨床心理士^{*3}
- 認定心理士、認定心理士(心理調査)

※2 公認心理師(国家資格)の受験資格について
学部:資格取得に対応したカリキュラム施行済
大学院:資格取得に対応したカリキュラム施行済
最新の情報については心理学部・心理学研究科
のホームページで随時お知らせします。

※3 本学の心理学研究科(前期課程)臨床心理学
コース修了者に受験資格が与えられます。

幅広い業界で活躍できます

これまでの心理学卒業生の実績を見ると、
メーカー、金融、商社、サービス、情報・通信、
公務員など幅広い分野への就職、大学院や
海外の大学への進学などが挙げられます。
業種では、製薬会社、医療関係会社、病院、
教育・臨床分野、マスコミ、企業のリサーチ部門、
児童相談所、家庭裁判所、教育産業など、さま
ざまな分野で活躍しています。

過去3年間の主な就職・進学実績

[就職先] ※社名は就職した時点のものです

- アース製薬(株)
- アサヒビール(株)
- イオンモール(株)
- サイボウズ(株)
- サントリーホールディングス(株)
- ダイキン工業(株)
- トップラン・フォームズ(株)
- パナソニック(株)
- みずほフィナンシャルグループ
- ヤマハ(株)
- ソニー(株)
- ユニチャーム(株)
- りそなグループ
- 旭化成グループ
- (株)JALスカイ
- (株)JTB関東
- (株)NTTドコモ
- (株)エイチ・アイ・エス
- (株)エヌ・ティ・ティ・データ
- (株)オリエンタルランド
- (株)キーエンス
- (株)セブン-イレブン・ジャパン
- (株)ニトリ
- (株)カプコン
- (株)ファミリーマート
- (株)ヤクルト本社
- (株)ゆうちょ銀行
- (株)ワコール
- (株)京都銀行
- 京都信用金庫
- (株)三井住友銀行
- (株)三菱UFJ銀行
- (株)滋賀銀行

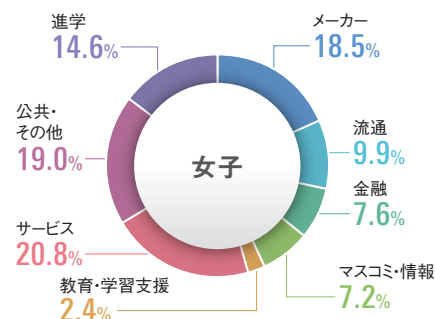
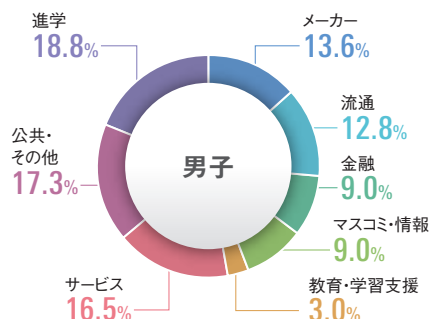
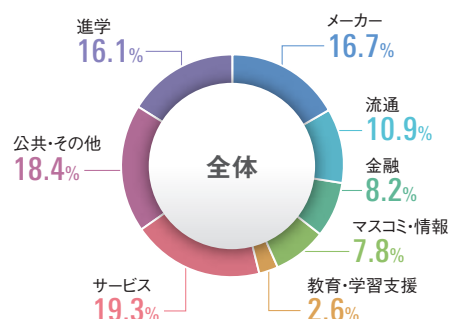
- (株)村田製作所
- (株)GSユアサ
- (株)東芝
- (株)島津製作所
- (株)日立物流
- (株)八十二銀行
- 三菱電機(株)
- (株)北陸銀行
- 関西テレビ放送(株)
- 岩谷産業(株)
- 久光製薬(株)
- 警視庁
- 日本郵便(株)
- 三井住友海上火災保険(株)
- 三菱UFJ信託銀行(株)
- 三菱商事(株)
- 西日本旅客鉄道(株)
- 損害保険ジャパン日本興亜(株)
- 大阪府
- 大塚製薬(株)
- 大日本印刷(株)
- 東京海上日動火災保険(株)
- 日本銀行
- 日本航空(株)
- 日本生命保険相互会社
- 日本通運(株)
- 日本年金機構
- 法務省専門職員(法務教官)
- 明治安田生命保険相互会社
- 野村證券(株)
- SCSSK(株)
- 家庭裁判所調査官
- 国公立大学、私立大学
- 国家公務員

[進学先]

- 大阪大学大学院 人間科学研究科
- 大阪市立大学 生活科学研究科
- 関西大学 臨床心理専門職大学院
- 関西学院大学大学院 心理学研究科
- 九州大学大学院 人間環境学府
実践臨床心理学専攻
- 京都大学大学院 人間・環境学研究所
- 神戸大学大学院 人間発達環境学研究所
- 筑波大学大学院 人間総合科学研究科
- 東京大学大学院 教育学研究科
- 同志社大学大学院 心理学研究科
- 鳥取大学大学院 医学研究科
- 広島大学大学院 教育学研究科
- 法政大学大学院 人文科学研究科
心理学専攻
- 早稲田大学大学院 人間科学研究科
- 海外大学および大学院

(五十音順)

過去3年間の卒業生の進路



学部概要・入学試験情報

学部概要

[学部名称] 心理学部
[学位] 学士(心理学)
[学科構成] 心理学科(一学科制)
[入学定員] 158名
[設置場所] 京田辺校地: 京都府京田辺市多々羅谷1-3

入学試験情報

- 一般選抜入学試験(全学部文系、全学部理系、学部個別)
- 大学入学共通テスト利用入学試験
- 自己推薦入学試験
- 第3年次転入学・編入学試験
- 外国人留学生入学試験

Collaboration

豊かな交流が
総合的な学びとなります。

京田辺校地を主たるキャンパスとして展開することにより、
2008年に開設した生命医科学部・研究科やスポーツ健康科学部・研究科、
また、文化情報学部、グローバル・コミュニケーション学部、
理工学部・研究科といった学部群と連携した総合的な学びが可能になりました。
心理学部は、こころを扱う領域として社会に貢献するため、
産業界や教育・医療機関等と連携した実践的な教育・研究を目指します。

学内連携

今出川校地

- 人文・社会科学系学部・研究科

京田辺校地

- 理工学部・研究科
- 文化情報学部・研究科
- 生命医科学部・研究科
- スポーツ健康科学部・研究科
- グローバル・コミュニケーション学部
- 脳科学研究科

学外連携

産学共同のプロジェクト

海外研究者との活発な交流

海外大学への充実した留学制度

同志社大学 心理学部・ 心理学研究科

心理学部・心理学研究科と
学内・学外連携イメージ

大学院

※財団法人 日本臨床心理士資格認定協会「第1種指定大学院」

- 心理学コース
- 臨床心理学コース

今出川校地（新町キャンパス）

- 心理臨床センター



尋真館 心理臨床センター

研究センター

実証に基づく心理・社会的トリートメント研究センター

Center for Wing of Empirically Supported Treatments(WEST)

実証に基づく心理療法の開発・普及・研究を目的とした、
西日本を中心とした研究者のネットワーク

近年、日本においても「実証に基づく心理・社会的トリートメント」(Empirically Supported Treatments; EST)の開発やその普及が重要視されるようになってきています。本センターは日本でのより本格的な「実証に基づく心理・社会的トリートメント」の開発・普及を推進するため、特に西日本における中心的な役割を担うことを目的としています。

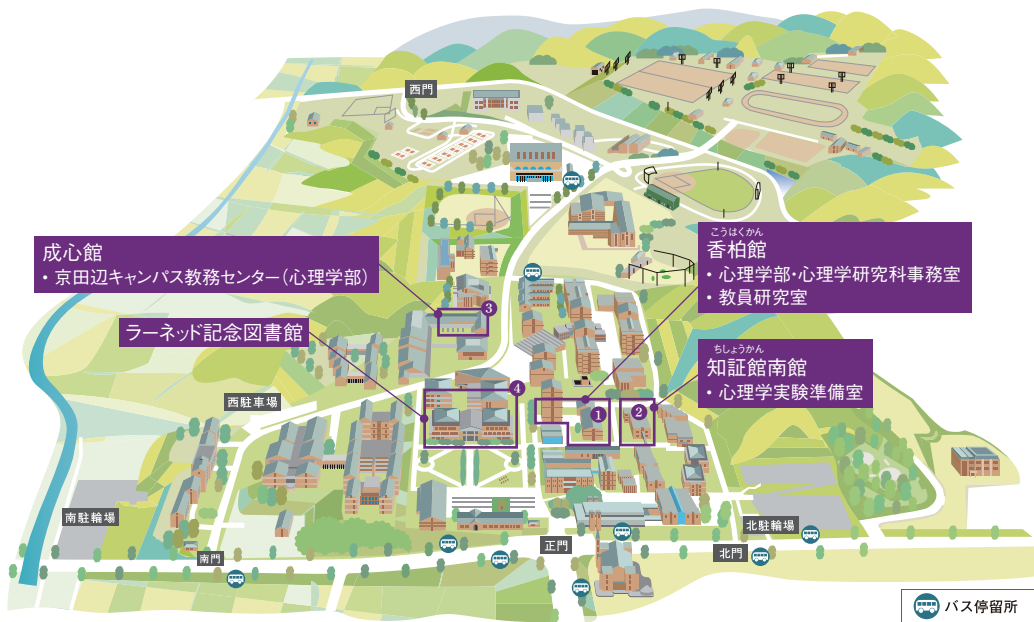


WESTシンポジウム

キャンパスマップ(京田辺キャンパス)

広大なキャンパスに、最先端の教育設備を導入。

1986年に開設された京田辺キャンパス。約9,000人が学生生活を送る総面積79万㎡の広大な敷地には、マルチメディアライブラリを備えたラーネッド記念図書館をはじめ、最先端の実験設備・機器がそろった各種実験棟や、同志社ルーム記念館、情報メディア館などの情報教育設備も整えられています。



成心館
・京田辺キャンパス教務センター(心理学部)

ラーネッド記念図書館

香柏館
・心理学部・心理学研究科事務室
・教員研究室

知証館南館
・心理学実験準備室

バス停留所



1 香柏館
・心理学部・心理学研究科事務室
・教員研究室



2 知証館南館
・心理学実験準備室



3 成心館
・京田辺キャンパス教務センター(心理学部)



4 ラーネッド記念図書館

アクセスマップ

※今出川キャンパスから京田辺キャンパスまで約60分



京田辺校地

- 近鉄「興戸」駅から徒歩15分
- 近鉄「新田辺」駅からバスで8分
- 近鉄「三山木」駅からバスで5分
- JR「同志社前」駅から徒歩10分

今出川校地

- 地下鉄「今出川」駅から徒歩1分
- 京阪「出町柳」駅から徒歩15分

学研都市キャンパス

- 近鉄「木津川台」駅から徒歩13分



同志社大学 心理学部 シンボルマークについて

同志社の象徴であるワイルドローヴァー号と、心理学(psychology)を表すギリシャ文字のΨ(サイ)を組み合わせて図案化しました。古典的なエンブレム風のデザインと創立年を示す「SINCE 1927」の文字は、同志社大学心理学部にふさわしい伝統と品位を表現しています。ワイルドローヴァー号の帆を掲げ、新天地へ渡った新島襄の志と探求心が今に生きていることを表す、堂々としたイメージのマークです。



同志社大学 心理学部

〒610-0394 京都府京田辺市多々羅都谷1-3
TEL:0774-65-8220 FAX:0774-65-8223
E-mail:jt-snrjm@mail.doshisha.ac.jp

さらに詳しく知りたい人は

同志社大学 心理学部ホームページ
<https://psych.doshisha.ac.jp/>

[日英サイト開設](#)



- Point 1** パンフレットには収まりきらなかったインタビュー記事を掲載!
- Point 2** イベントなど、学部に関する最新情報を続々配信中!
- Point 3** 「心理学部生の1日」など、学生たちのリアルライフも公開!



書籍紹介

『ようこそ、心理学部へ』

[先生コメント](#)

この本では心理学部を“紙上体験”していただけます。
読者は心理学部2年次生となり、ある1週間の専門講義科目7コマに出席します。内容は実際の講義を再現するもので、定番のテーマや興味深いピックスが取り上げられています。専門講義科目といっても本書は初めて心理学に接する読者を想定しています。各講義は心理学の基礎知識がなくても理解できますので、その点ご安心下さい。
さあ、心理学部の大学生がどんなことを勉強しているのか、体験してみましょう。
発刊責任者 中谷内 一也

書籍名:『ようこそ、心理学部へ 同志社大学心理学部編』
出版社:筑摩書房 版型:新書版 ページ数:208頁 発刊日:2022/3/8

お求めは全国の書店または、
筑摩書房のHPへ

<https://www.chikumashobo.co.jp/product/9784480684219/>



心理学部ホームページでも
紹介しています

<https://psych.doshisha.ac.jp/book/>

